

「サステナビリティレポート 2026」公開 ～持続可能な社会の実現に向けた活動報告～

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は5月20日、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート 2026」を[ホームページ](#)に公開しました。

本レポートは投資家をはじめ幅広いステークホルダーに向けて、当社グループのサステナビリティ活動を網羅的に報告しています。

長期ビジョン「Mission TREEING 2030」で特定した9つの重要課題の数値目標に対する2025年度実績および事業と連動した取り組みを紹介。2025年より「飛躍の成長に向けた改革と具現化の3年」を全体テーマにスタートした中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase2」(2025～2027年)で掲げた目標の達成につながる取り組みも掲載しています。「中期経営計画サステナビリティ編」では組織で数値目標を策定し、「事業とESGの更なる一体化」の実現に向けて取り組んでいます。



[サステナビリティレポート 2026\(WEB ページ\)](#)

「サステナビリティ レポート 2026」では将来的な目標設定の基盤をつくることを目的に、ネイチャーポジティブへの貢献を定量的に評価するための「森林の生物多様性・水資源調査をはじめとするモニタリング調査プロジェクト」を選定し掲載しています。また、ESGに関連する数値を体系的に整理した「ESG データ集」の内容を充実させ、当社グループに関連する各種データの閲覧性を改善し、利便性の向上を図りました。

今後はネイチャーポジティブを目指した取り組みや2050年カーボンニュートラル実現に向けて2025年から検討を開始した移行計画策定の進捗状況など、気候変動・自然関連課題への対応に関する情報開示をさらに強化していきます。

■「サステナビリティ レポート 2026」概要

- ・対象期間:2025年1月～2025年12月
- ・対象組織:当社および連結子会社
- ・公開方法:住友林業ホームページ(<https://sfc.jp/information/sustainability/>)にて公開
- ・第三者保証機関:KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- ・WEB サイトでは最新情報を随時更新予定

■冊子版について

- ・「サステナビリティ活動ハイライト」を、ダイジェスト版冊子として発行(7月予定)
- ・WEB サイトの情報をまとめたPDF版「サステナビリティレポート 2026」を公開(7月予定)
- ・非財務面の情報を含む統合報告書を発行(6月予定)

住友林業グループはSDGs目標年でもある2030年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定。長期ビジョンでは「地球環境への価値」、「人と社会への価値」、「市場経済への価値」の視点から9つの重要課題を特定しました。今年が2年目となる中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase2」(2025～2027年)では「事業とESGの更なる一体化」を基本方針の1つに掲げています。今後もSDGsをはじめとする社会の期待に応え、企業価値の向上につなげていきます。

≪ 本件に関するお問い合わせ先 ≫
 住友林業株式会社
 コーポレート・コミュニケーション部 鈴木・内田
 TEL:03-3214-2270